

● 浄水水質の平均値 (2016年)

項目	単位	年間平均	国内水質基準
大腸菌	cfu/100mL	0	0
鉛	mg/L	0.001	0.01
総トリハロメタン	mg/L	0.0219	0.1
マンガン	mg/L	未検出	0.05
残留塩素	mg/L	0.36	≥ 0.2
鉄	mg/L	0.0021	0.2
総硬度	mg/L	135	—
pH	—	7.7	6.5-9.5
色度	mgPt/L	1	消費者が許容でき、異常がないこと
濁度	NTU*	0.26	消費者が許容でき、異常がないこと

*1NTU = 0.7度 (必ずしも等しいわけではないが、目安として)

もある。国の定めた飲料水水質基準に準じているが、この国内基準も、もとは、EU飲料水指令にもとづき策定されたものである (EU飲料水指令 II EU加盟国に対する水道水質基準を定めた法令)。表に、2016年の浄水水質の平均値を示す。

□3 民営化の試みと違憲判決

近年、ギリシャ国民の耳目を集めている事案に、政府による EYDAP 民営化の試みがある。

財政赤字を発端に水道民営化を推進 違憲判決でトーンダウン



民営化の推進にあたり、政府は、ギリシャ共和国資産開発基金 (HRADF) を 2011年に設立。段階的に持ち株を売却していくため、EYDAPの株式27%をHRADFに移譲する。しかし、残りの持ち株34%をHRADFに移譲しようとしたところで、行政訴訟の最上級審である国家評議会から、2014年に待ったがかかると、水道事業の民営化推進は、公衆衛生の保護を定めた憲法

る。きっかけは、財政赤字の粉飾発覚に端を発した、2010年のギリシャ債務問題。このとき、政府は財政破綻を回避するため、EU委員会、EU中央銀行、IMF (国際通貨基金) の3者から、条件付きの金融支援を受ける。支援の条件に含まれていたのが、EYDAPを含むさまざまな公営企業の民営化である。その目的は、株を売って得た利益を、国の借金返済などに充てること。EYDAPの場合、もともと国が所有していた61%の株式を、民間投資家に売却する動きが進んでいくことになる。



アクロポリスの丘とパルテノン神殿

出典

1. EYDAP. "Annual Report 2016." https://www.eydap.gr/userfiles/Presentations/etisio_deltio_2016_en.pdf
2. EYDAP. "Annual Financial Report 2017." https://www.eydap.gr/userfiles/FinancialResults/2017/etisia_oik_ekthesi_2017_en.pdf
3. M. Pempetzoglou & Z. Patergiannaki. "Debt-driven water privatization: The case of Greece." May-Aug 2017, Vol. 5, Nr1. European Journal of Multidisciplinary Studies. http://journals.euser.org/files/articles/ejms_may_aug_17/Maria.pdf
4. HRADF. 5 June, 2018. "Asset Development Plan." <https://www.hradsf.com/storage/files/uploads/adp-en05062018.pdf>
5. The Guardian. Fri 14 Aug 2015. "Germany's hypocrisy over Greece water privatization." <https://www.theguardian.com/sustainable-business/2015/aug/14/germanys-hypocrisy-over-greece-water-privatisation>

に反するとの違憲判決である。同時に、EYDAPの株式の「50%+1株」以上は、つねに国が保有していなければならぬとの判決も下った。

この判決を受けて、2018年初頭、HRADFから国に対して、国の持ち株が50%+1株以上になるよう株式の返還が行われた (ただし、実際の返還

先は、2017年に設立された国が100%所有する持ち株会社に対して)。その結果、HRADFが所有するEYDAPの株式は11%となり、現在、この11%だけが民間への売却予定対象となっている。

● アッティカ地方とアテネの位置



Supply and Sewerage Company S.A.) が担当している。同社の設立は1980年、大株主はギリシャ政府。首都圏における数十の基礎自治体への末端給水事業のほか、アッティカ地方の他の基礎自治体への用水供給事業なども行っている。2016年の給水人口は430万人。1日あたりの平均配水量は110万立方メートル。水

ヨーロッパ南東部、バルカン半島の南端に位置するギリシャ共和国。日本の3分の1程度の土地に、1100万の人口を抱える。EU加盟国のひとつで、国内通貨にユーロ、公用語にギリシャ語が使われている。首都アテネの歴史は古く、

- 公益財団法人 水道技術研究センター 専務理事 安藤 茂
- 同センター 調査事業部主任研究員 高橋 邦尚

紀元前にはアテナイという古名のもと、古代ギリシャ文明の中心として栄えた。現在の市域人口は67万人、首都圏全体では380万人をかぞえる。

広域行政区画として、国内には全部で13の「地方」があり、アテネはアッティカ地方に属する。各地方には基礎自治体があり、アテネも基礎自治体のひとつである。

□1 アテネの上下水道事業

アテネを含む首都圏の上下水道事業は、アテネ上下水道会社 (EYDAP: Athens Water

● アテネの上水道に関する基礎データ (2016年)

事業者	EYDAP (職員約2,500人)
株主	ギリシャ政府 (34%)、ギリシャ共和国資産開発基金 (27%)、各種法人 (32%)、個人 (6%)
事業区域	アッティカ地方 (アテネ首都圏への末端給水事業、およびその周辺自治体への用水供給事業等)
給水人口	430万人
給水接続	210万件
水源	地表水 99%、地下水 1%
管路延長	9,500 km (うち導水管 495 km)
浄水場数	4 (総処理能力: 190万m ³ /日)
配水量	110万m ³ /日

源はほぼすべて地表水で、三つの人造湖 (ダム) と、一つの自然湖から取水している。バックアップ用の水源として地下水も利用されているが、全取水量に占める割合は1%に満たない。表に、アテネの上水道に関する基礎データを整理する。

□2 浄水処理と水質

四 つある浄水場の処理能力は190万立方メートル/日。浄水処理として、前塩素処理、凝集沈澱、砂ろ過が行われている。水質の状態に応じて、配水前に後塩素処理が行われること